

# GLASS RUN MOUNTING STRUCTURE FOR AUTOMOBILE

**Publication number:** JP60076420 (A)

**Also published as:**

**Publication date:** 1985-04-30

JP3013085 (B)

JP1655672 (C)

**Inventor(s):** YAMAZAKI KUNIO; SAKUMA HIROSHI

**Applicant(s):** KINUGAWA RUBBER IND

**Classification:**

- B60J1/17; B60J10/04; B60J10/08; B60J1/17;

**international:** B60J10/00; B60J10/02; (IPC1-7): B60J1/7

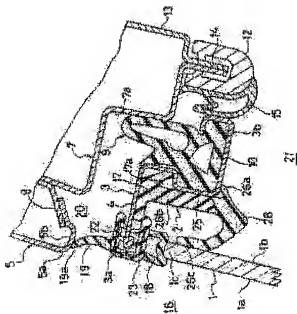
- **European:** B60J10/08

**Application number:** JP19830184898 19831003

**Priority number(s):** JP19830184898 19831003

**Abstract of JP 60076420 (A)**

**PURPOSE:** To improve the mounting strength and mounting operability of a glass run by molding a welt having a built-in core material and an U-shaped section integrally with the glass run to be attached to the outside of a car in a door sash portion. **CONSTITUTION:** A welt portion 23 having a core material 22 molded integrally with a glass run 2 and embedded and a U-shaped section is attached to the outside end 3a of a door sash portion 3, and next a glass run body 17 is attached in a glass run mounting portion 4 provided in the central portion of the door sash portion 3. Further, engaging portions 26a, 17a extending respectively from the door seal lip portion 26 side and the glass run body 17 side engage a door seal lip mounting portion 25 provided at the inside end 3b side of the door sash portion 3 to mount the glass run 2.; Thus, by mounting the glass run through the welt having the core material 22 built in the strength and operability of mounting are improved.



## ⑨ 公開特許公報(A) 昭60-76420

⑨ Int.Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

④公開 昭和60年(1985)4月30日

B 60 J 1/17

7725-3D

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

⑨発明の名称 自動車用ガラスランの取付構造

⑨特 願 昭58-184898

⑨出 願 昭58(1983)10月3日

⑨発 明 者 山 崎 國 生 千葉市長沼町330番地 鬼怒川ゴム工業株式会社内  
 ⑨発 明 者 佐 久 間 宏 千葉市長沼町330番地 鬼怒川ゴム工業株式会社内  
 ⑨出 願 人 鬼怒川ゴム工業株式会 千葉市長沼町330番地  
 社  
 ⑨代 理 人 弁理士 志賀 富士弥

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

自動車用ガラスランの取付構造

## 2. 特許請求の範囲

(1) ドアサッシ部に対し、ドアガラスを昇降可能に案内するためのガラスランを一体的に取付けて成る自動車用ガラスランの取付構造において、前記ガラスランと一体成形され、かつ、内部に芯材が埋設された断面略U字状のウエルト部を、前記ドアサッシ部の車外側に位置する外側端に一体的に装着したことを特徴とする自動車用ガラスランの取付構造。

## 3. 発明の詳細な説明

本発明は、自動車用ガラスランの取付構造の改良に関する。

従来の自動車用ガラスランの取付構造としては、例えば、第1図及び第2図に示すようなものが知られている。

この取付構造は、ドアガラスを昇降可能に案内するガラスランを、断面略逆U字状のドアサッシ部3のガラスラン取付部4内に嵌装して、ドアサッシ部3に対しガラスランを一体的に取付けて構成されている。なか、同図において、5はルーフアウターパネル6とドアアウターパネル7との接合フランジ8に一体的に装着されたドリフトモール、9はドアサッシ部3のドアウエザーストリップ取付部10に一体的に取付けられ、ドア11の閉時にドアアウターパネル7に弾接されるドアウエザーストリップ、12はドアアウターパネル7とドアインナーパネル13との接合フランジ

部14に装着された、断面略H字状のウエルトボデーサイド、13は該ウエルトボデーサイド12と一体成形され、前記ドアサッシ部3の内側端10と弾接される中空状のグラスランネルを示す。

ところで、このような構成の従来のドアシール構造にあつては、ドアサッシ部3内に装着されたグラスランネルにてドアガラス1を昇降案内するようにしているため、ドアガラス1の外側面15とドアサッシ部3の車外16側の外側端18との表面との間に、所定寸法の段差19が生じ、そのため、その部分が車体の外表面として凸凹となつて車体の美的外観を損うばかりでなく、その段差19により、自動車走行時の空気流に乱れが生じて風切音の発生原因となつてゐる。

そこで、このような不具合を解消するためには、

8

スランの取付構造を提供することを目的とするものである。

以下、本発明の実施例を図面に基づいて説明する。なお、従来例と同一構成部分には、同一指示符号を付してその重複する説明は省略する。

第8図は本発明に係る自動車用グラスランの取付構造の一実施例を示す要部断面図である。

第8図に示すように、グラスラン2を構成しているグラスラン本体17は、ドアガラス1を昇降可能に保持するドアサッシ部3のグラスラン取付部4内に装着保持されており、このグラスラン本体17には、内部に芯材22が埋設された断面略H字状のウエルト部23が一体成形されている。このウエルト部23は、前記ドアサッシ部3の車外16側に位置する外側端18に、その部分を挟持するよ

5

ドアガラスの外側面とドアサッシ部3の外側端表面とをほぼ平面一とすることが必要となるが、このような構成を採るため、単純に、ドアサッシ部3の外側端、グラスランの外側端及びドアガラスの外側面をほぼ平面一にしようとすると、ドアサッシ部3の外側端側において、グラスランの取付強度が低下するおそれが生ずる。

本発明は、このような実情に鑑み、ドアサッシ部3の車外側に位置する外側端に、グラスランと一体成形され、かつ、内部に芯材が埋設された断面略H字状のウエルト部を一体的に装着して、ドアサッシ部3、特にその外側端側におけるグラスランの取付強度の向上を図ることができるとともに、ドアサッシ部3に対するグラスランの取付け作業性の向上を図ることができる自動車用グラ

4

ランにして一体的に装着されており、ドアサッシ部3に対するグラスラン2の取付強度の向上、及びその取付作業性の向上が図られるようになってゐる。このウエルト部23のドアガラス1側には、ドアガラス1の端縁10に弾接されるシール部18が一体成形されており、また、このウエルト部23のドリツプモール5側には、そのドリツプモールの折曲部5bの外側面5aに弾接される位置まで延びるドリツプモールシールリップ19が一体成形されている。このドリツプモールシールリップ19は、ドアの閉成時に、ドリツプモール5の外側面5aに弾接して、ドリツプモール5の折曲部5b、ドアウエスターパネル7、ドアウエザーストリップ7及びドアサッシ部3で囲繞される空間部20を、ドアサッシ部3の外側端18近傍位置で閉鎖し、

6

もつて前記空間部20内への雨水等の侵入防止し、自動車の走行時において、空間部20内に空気が侵入乱流して生ずる空流抵抗の増大及び風切音の発生の防止、及び空間部20を車外14から視認できないように被つて、自動車の美的外観の向上等を図ることと、ドアサツシユ部3とグラスラン2との間から車室21内への雨水等の侵入を防止するために設けられたものである。また、ドアサツシユ部3の内側端3bに形成されたドアウエザーストリップ取付部10内には、ドアの閉成時に、ドアアウターパネル7の外側面7aに弾接して、ドアサツシユ部3とドアアウターパネル7との間をシールするためのドアウエザーストリップ9が嵌着保持されている。前記ドアウエザーストリップ取付部10とグラスラン取付部8との間には、それら

7

及びドアシールリップ部26に形成されたドアガラス1側の延出端部26aは、ドリップモール5、ドアガラス1に対する弾接性、すなわちシール性の向上を図るため、スポンジゴム、発泡体などの軟質材にて形成されている。

このような構成の本発明に係る自動車用グラスランの取付構造の取付手順は、まず、ドアサツシユ部3の外側端3aに、断面略U字状のウエルト部22を嵌着し、次に、ドアサツシユ部3の中央部分に設けられたグラスラン取付部8内に、グラスラン本体17を嵌着し、更に、ドアサツシユ部3の内側端3b側に設けられたドアシールリップ取付部25に、ドアシールリップ部26及びグラスラン本体17側からそれぞれ延出された係止部26a、17aを係止させることにより行う。このような取付手

9

に連続する、断面略U字状のドアシールリップ取付部25が形成されており、この取付部25の両側端に、グラスラン本体17側、及びドアガラス1の内側面1bに弾接されるドアシールリップ部26側から延出された係止部17a、26aが、該ドアシールリップ取付部25を両側から挟持するようにして係合嵌着されている。

なお、この実施例では、グラスラン2のうち、グラスラン取付部8内に嵌着されたグラスラン本体17、ドアシールリップ取付部25に取付けられたドアシールリップ部26の基端部26b、及びウエルト部22は、ドアサツシユ部3に対するグラスラン2の取付強度を高めるため、ソリッドゴム等の硬質材にて形成されており、その他の部分、すなわち、ドリップモールシールリップ19、シール部18

8

順によつて、ドアサツシユ部3に対しグラスラン2を取付けることができるので、可及的速やかにドアサツシユ部3に対するグラスラン2の取付け（取付）<sup>(59)</sup>ことができる。また、グラスラン2の車外14側がウエルト部22を介して取付けられるので、グラスラン2、特にその車外14側を、ドアサツシユ部3に対して強固に取付けることができるとともに、このウエルト部22と一体成形のシール部18及びドリップモールシールリップ19を、ドアサツシユ部3の所定位置に正しく位置させることができるので、ドアの閉成時において、ドリップモールシールリップ19の延出端部19aを、ドリップモール5の外側面5aに対して確実に弾接させて、ドリップモール5とドリップモールシールリップ19との間を確実にシールすることができる一方、ド

10

アガラスノの閉成時において、ドアガラスノの端縁ノを、シール部18に対して確実に弾接させて、ドアガラスノとシール部18との間を確実にシールすることができる。また、ドアの閉成時において、ドリップモール3の外側面3a、ドリップモールシールリップ19、ウエルト部23、シール部18及びドアガラスノの外側面ノaがほぼ面一の連続面となるので、自動車の美的外観の向上及び風切音の発生防止等を図ることができる。

以上の説明から明らかなように、本発明は、ドアサッシ部の車外側に位置する外側端に、グラスランと一体成形され、かつ、内部に芯材が埋設された断面略U字状のウエルト部を装着するだけで、ドアサッシ部に対しグラスランを一体的に取付けられるので、ドアサッシ部に対するグラ

スランの取付作業性の向上を図ることができるとともに、グラスランの車外側が、芯材を内部に埋設したウエルト部を介してドアサッシ部に取り付けられるので、ドアサッシ部の外側端側に付けるグラスランの取付強度の向上を図ることができる。

#### 4 図面の簡単な説明

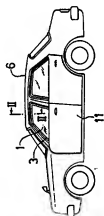
第1図は自動車の側面図、第2図は従来の自動車用グラスランの取付構造の一例を示す要部断面図、第8図は本発明に係る自動車用グラスランの取付構造の一実施例を示す要部断面図である。

1…ドアガラス、10…端縁、2…グラスラン、3…ドアサッシ、3a…外側端、18…車外、23…芯材、23a…ウエルト部。

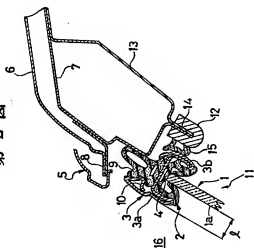
代理人 志 賀 富 士 弥



第1図



第2図



第 3 図

